



3月21日「国際森林デー」・5月22日「国際生物多様性の日」



国連生物多様性の10年

『「グリーンウェイブ2016」キックオフ・フォーラム』

～全国とつながる、世界とつながる、「グリーンウェイブ」～

参加者募集要項

【日程】平成28年3月1日(火) 13:15～14:20 [受付:13:00～]

【場所】国連大学「ウ・タント国際会議場」(東京都渋谷区神宮前5-53-70)

生物多様性条約事務局が、5月22日「国際生物多様性の日」を中心に生物多様性保全のための行動を呼びかける、世界共通のキャンペーンである「グリーンウェイブ」。我が国では、環境省・農林水産省・国土交通省により、3月1日～6月15日の期間で呼びかけられており、年々活動の広がりをみせています。

特に、2016年は、我が国が世界に提唱した「国連生物多様性の10年」の後半が幕開けする年であるとともに、同年12月に開催される「生物多様性条約第13回締約国会議(COP13)」では、一次産業における生物多様性の主流化が主要テーマとして議論される中では、「グリーンウェイブ」においても我が国が世界にリーダーシップを発揮した取組を展開することが期待されます。

そこで、今年のキックオフ・フォーラムでは、行政・企業・NPO等による「グリーンウェイブ」の特色ある取組事例を参考に、COP13に世界に発信する活動のあり方について議論しますので、多くの皆さまのご参加を、お待ちしております。

【主催】「生物多様性と子どもの森」キャンペーン実行委員会、

(公社)国土緑化推進機構、美しい森林づくり全国推進会議

【会場】国連大学「ウ・タント国際会議場」(東京都渋谷区神宮前5-53-70)

【交通】東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅 B2 出口より、徒歩約5分
JR各線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ各線「渋谷」駅より、徒歩約10分

【参加対象】生物多様性保全、森づくり、緑化、環境教育等にご関心のある方 300名

【参加費】無料

同時開催

本行事終了後には、以下の行事が開催されますので、奮ってご参加下さい。(詳細は次頁参照)

3月1日(火) 15:00～17:30 『地方創生・CSV時代の「企業の森づくり」フォーラム』

【Information】『グリーンウェイブ』とは？

生物多様性条約事務局が、2008年から世界に呼びかけている、生物多様性に対する意識を向上するためのキャンペーン。

国連が定めた「国際生物多様性の日」(5月22日)の現地時間午前10時に、世界中で青少年等によって植樹等の生物多様性への理解を深めるためのアクションを呼びかけています。

このアクションが、地球上を東から西へ波のように「緑の波」が広がっていく様子から、「グリーンウェイブ」と呼んでいます。

わが国では、日本の気候風土を鑑みて、期間は3月1日より6月15日まで、活動例としては植樹のほか、森林や樹木等の保全・手入れ、森林や樹木等とのふれあう活動等を含めて、呼びかけています。

(詳しくは、公式サイト <http://www.greenwave.go.jp/> をご覧下さい)



国連生物多様性の10年『グリーンウェイブ2016』キックオフ・フォーラム』

【内容・スケジュール】(一部予定)

【「グリーンウェイブ2016」キックオフ・フォーラム】

(13:15～14:45)

開会挨拶

概要報告 『「グリーンウェイブ2016」及び「国連生物多様性の10年」をめぐる最近の話題』
環境省 自然環境局 生物多様性施策推進室

事例紹介

行政事例 石川県(県内施設や学校・団体等と連携した「いしかわグリーンウェイブ」)

企業事例 積水化成品工業(株)(積水化成品グループで行う「グリーンウェイブ」)

NPO事例 (NPO)子どもの森づくり推進ネットワーク(メディア等への訴求力を高めるグリーンウェイブ)

パネルディスカッション「COP13に向けて、世界とつながる、世界に広めるグリーンウェイブ」

ナビゲーター 川廷 昌弘(「生物多様性と子どもの森」キャンペーン実行委員会)

パネリスト 石川県、積水化成品工業(株)、(NPO)子どもの森づくり推進ネットワーク

【同時開催】『地方創生・CSV時代の「企業の森づくり」フォーラム』

(15:00～17:30)

[主催：美しい森林づくり全国推進会議、(公社)国土緑化推進機構]

開会挨拶

基調講演

講演 『地方創生・CSV時代の新たな森づくり・木づかい』

赤池 学(CSV推進機構 理事長、ユニバーサルデザイン総合研究所 所長)

講演 『ISO14001改訂や自然資本会計を踏まえた新たな生物多様性保全』

中井 邦治(経団連自然保護協議会 事務局次長)

講演 『グローバル人材育成に向かう教育政策と森林ESD』

山下 宏文(京都教育大学 教授、森林ESD研究会 座長)

事例紹介

事例 美濃加茂市(地方創生時代の企業協働の森づくり～学校での木づかいと森のようちえん～)

事例 (NPO)もりふれ倶楽部(中間支援組織が繋ぐ、企業による学校の森づくり・木づかい)

パネルディスカッション「地方創生・CSV時代の企業の森づくり・人づくり・木づかい」

ナビゲーター 宮林 茂幸(美しい森林づくり全国推進会議 事務局長、東京農業大学 教授)

パネリスト 赤池 学、中井 邦治、山下 宏文、美濃加茂市、(NPO)もりふれ倶楽部

【申込方法】下記サイトの「申込フォーマット」よりお申込み下さい。

「生物多様性と子どもの森」キャンペーンサイト <http://www.greenwave-net.com/>

『地方創生・CSV時代の「企業の森づくり」フォーラム』と同一の申込フォームとなります。

【締切】定員になり次第、申込を締め切りますので、お早めにお申し込みください。

【問合せ先】「生物多様性と子どもの森」キャンペーン実行委員会 事務局

[E-mail] greenwavenet.com@gmail.com [フォーム] <http://www.greenwave-net.com/contact/>

本事業は、独立行政法人環境再生保全機構「地球環境基金」の助成を受けて実施します。